Bulletin Issued on June 1,2016

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
REGION 9 ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

CHERTERED 2009

6
2016
JUNE

KUMAMOTO NISHI Y'S MEN'S CLUB
熊本にしワイズメンズクラブ

2016年6月1日発行 №86

・国際会長主題	"Mission with Faith"	「信念のあるミッション（使命・目標）」	Wichian Boonmapajorn(タイ)
・アジア会長主題	"Through Love,Serve"	「愛を持って奉仕をしよう」	Edward K.W. Ong（シンガポール）
・西日本区理事主題	"You can do it! Yes,you can!"	「あなたならできる！きっとできる」	遠藤 通寛（大阪泉北）
・九州部部長主題	「九州から輝くワイズダム」		五嶋 義行（阿蘇クラブ）

熊本にしクラブ会長主題 "Let's enjoy Y's Life"
～ 二度とないこの時を、仲間と共に ～

第7代会長 木本 博章

6月引き継ぎ例会 プログラム

日時：2016年6月1日(水) 19:00 ～ 21:00
場所：ANAクラウンプラザ熊本ホテルニュースカイ
司会：中西ドライバー委員長

1．開会宣言・点鐘		木本会長
2．ワイズソング「いざたて」		全員
3．会長挨拶		木本会長
4．メネット会長挨拶		木本智子メネット会長
5．ゲスト・ビジター紹介		
6．ハッピーバースデイ・アニバーサリー		
7．食前感謝		加藤連絡主事
8．食事 諸報告		
9．『一年を振り返って』		
10．引継ぎ式	立会進行	町田５代目会長
11．新役員紹介		宮田次期会長
12．贈呈式		
13．なごりはつきねど		全員
14．閉会宣言・点鐘		木本会長

【ハッピーバースデー】
6月： 4日 西原メネット　22日 津志田メネット
28日 木本メン　28日 亀井オメット
【アニバーサリー】
6月： 2日：松野孝信・真由美　11日：津志田幸紀・和美
14日：大西一史・裕美　17日：水元裕二・留美

4月/5月例会出席状況

在籍会員数	27名/27名	例会出席率	55.6%/55.6%
広義会員数	0名/0名	メイキャップ	2名/-名
例会出席数	15名/15名	メネット	6名/-名
第1例会		コメット	2名/-名
第2例会		ゲスト・ビジター	12名/-名

いざ立て

1．いざ立て心あつくし 手を挙げ誓いあらたに
われらのモットー守る ふさわしその名ワイズメン
絶えせずめあて望み この身を捧げ尽くさん
2．歌えば心ひとつに ともがきひろがりゆきて
遠きも近きも皆 捧げて立つやワイズメン
栄えと誉れ豊か まことは胸にあふれん

なごりはつきねど

なごりはつきねど つどいははてぬ
今日ひとひのさち 静かに思う

今月の聖句

加藤 泰文

「人からしてほしいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」

（マタイによる福音書７章１２節）

皆さんもご存じのとおり、益城町体育館には多くの方々が避難されています。指定管理運営に携わる熊本ＹＭＣＡとしてやるべきこと、それは、行政との連携を図り避難されている方々の安全を守ること。そして、震災弱者といわれる「子ども」「高齢者」の支援や居場所づくりも並行して取り組んでまいりました。

本震翌日より、テニス場を解放して子どもたちの遊ぶスペースを確保し、レクリエーションを行い、芝生広場にて、タオルを使ったストレッチ運動からスタートしました。

児童福祉教育科、介護福祉学科、健康スポーツ科のスタッフの専門性を活かし、プレイルームの開設、高齢者運動実践、入浴介助等、試行錯誤しながら被災されている方々に提供いたしました。

学生たちのボランティアでの関わりは、本当に頼りになりました。ボランティアに参加した学生は、子どもたちのために、高齢者の皆さんのためにと献身的にかかわりを持ってくれました。避難所という非日常の空間ではありますが、日常と変わらない笑顔で接している姿を見ることができました。

日常であること、当たり前であることがいかに幸せかを感じつつ、私たちができることを、背伸びせず、息長く取り組んでいきたいと思います。

会長通信

会長　木本博章

早いことで、熊本にしワイズメンズクラブ第7代目会長として最後の月を迎えることになりました。本当に早い一年でしたが、いろんな経験が出来た一年でした。

会長職を務めることでワイズメンズクラブとＹＭＣＡとの関係や行事など、今までわからなかった事や、活動の意味など、少し分かった気がします。そして何より、会長職をさせて頂き感じた事は、会長だからこその繋がりもでき、沢山の方と交流する事が出来ましたし、交流と言えば、にしクラブ長年の計画でありました、ＩＢＣの締結ですね。9月20日に台湾の台中エバーライフと無事に締結を結ぶことが出来ました。ＤＢＣとは違った雰囲気や文化の違い言葉の違いがありますが、問題なく楽しい交流が出来ました。今後長い付き合いになりますのでまた一つワイズの楽しみが増えました。

ただ残念なのが、直前会長より引き継いでおりました阿蘇キャンプ場での、足湯の製作です。
順調に進んでおり、後は、仕上げの段階で５月には、お披露目例会の予定でしたが、熊本地震により、今期の完成を断念致しました。予想も想像もつかない程の地震で沢山の被害を受け絶望に立たされましたが、にしクラブの皆様全員が大きな怪我がなく無事で何よりでした。また、多くのワイズメンズクラブの方々から、励ましの言葉や支援等を頂き心から感謝の気持ちと共に改めてワイズの素晴らしさが身に沁みました。
自分自身ワイズのメンバーであることに喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

一年間、お付き合い下さった役員を始めメンバーの皆様、本当に有難う御座いました。
来期は、西日本区大会も控えております。精一杯サポートをしながらワイズライフも楽しんで行きたいと思います。一年間、有難う御座いました。

メネット会長通信

メネット会長　木本智子

今月で早いものでメネット会長の役も最後となりました。
初めの経験で何もわからず、何もできず　一年あっという間に過ぎ去った気がいたします。
本当先輩メネットさんに頼りっぱなしとなりました。ありがとうございました。

また熊本地震が発生し予定しておりました養生園祭なども中止となりました。
被災地となり沢山の方の励ましのお声や支援物資、東北・関東と地震を経験された方が恩返しと言いボランティア活動に来られており、助けてもらう立場になり改めて人の温もりボランティアの大切さを身に染みて感じました。ワイズでもどんな支援が喜ばれるか必要か被災地となった今だからこそのテーマも見つかると思います。今後の活動にも役立てて行けたらと思います。

そして、メネット活動に関しても先輩方のように、自分も新しいメネットさんなどにもサポートできる立場になれるよう変わらず携わって行きたいと思います。

次期メネット会長は　宮田メネットです。
私よりも小さい子供さんがいらっしゃる中での会長職は大変かと思います。微弱ではございますが私の経験もいかし先輩メネットさんと共に支えていきたいです。
この一年間、皆様の御協力のお蔭で解らない事だらけでしたが、どうにか務める事が出来ました。本当の有難う御座いました。

心からお礼申し上げます。

熊本地震復興を目指して

熊本地震本震より、1カ月半が過ぎようとしています。
まだまだ、熊本県内には、非常に多くの避難生活を送っている方々がおられます。
そんな中、YMCAスタッフ・リーダーや各ワイズは、献身的な奉仕活動を実施しています。
各エリア・各区の仲間からの応援を力として、頑張って活動していきますので、今後とも応援、よろしくお願いいたします。
ワイズは、各業種のメンバーが集まっています。
今月号のブリテンは、各メンバーのそんな立場から見た、熊本地震についての記事を掲載します。

益城総合体育館アリーナの天幕作り

佐藤 通彦

益城総合体育館は、熊本YMCAが指定管理業者として管理作業を請け負っています。
そんな中、発生した熊本地震。大きなアリーナ・体育館・陸上競技場を持つ施設として、多くの避難者にあふれ、YMCAスタッフも大勢、避難者のサポートで地震発生当時から奮闘されていました。本来は、多くの避難者を受け入れるはずであったアリーナは、建物は大丈夫だったが、天井のパネルが崩落し、避難者をアリーナに避難させる事ができない状態でした。
廊下に避難されている方、外でテント生活をしている方、駐車場で車中泊をしている方を、一人でも多く、アリーナの中で体を伸ばして休んでいただけるように、復旧作業が進められる中、最後の準備として、天井が高くパネルが外れダクトなど剥き出しになっている状態では、避難者が寝られるには、恐怖心が芽生えられる。天井が高い為、これからの季節のエアコンの効きが悪くなる事を考慮し、亀浦ワイズの呼びかけで、ワイズ・メネット・YMCAスタッフが5月15日(日) 約140名が集結し、天幕作りが行われました。
作業日数日前の呼びかけで、140名の関係者が集まる、ワイズの機動力には、感動すら感じます。

天井が高いアリーナ

集まった140名のボランティアで天幕を縫う作業開始

左写真のように、パーティションも作成され、避難者の受入が開始されています。

少しでも、ここに避難者の方が落ち着いて生活できていれば良いのですが。

それにしても亀浦ワイズに設計・指導いただき、作成された天幕。

非常に神秘的な、あたたかい印象の天井となりました。
参加された皆さん、おつかれさまでした。

建築業関係

熊本地震復興へ向けて

中西 賢一

今まで普通に暮らしてた熊本で、誰も予期せぬ2度の大地震。前震、本震それから1500回を超える余震。数え切れないほどの住宅崩壊、最大時19万人を超える避難者、今なお避難生活は続いている。

自分たちにできる事、建物の崩壊による2次災害を防ぎ、元の暮らしに戻れるような建物の復旧。まずは天候に左右される屋根、晴れの日、雨の日、風が強い日さまざまな天候に踊らされます。屋根の上のブルーシート張りどれだけ用意しても足らないがまずは少しでも多くの人を助けれるようにと身近なところから動きました。木造住宅では瓦の棟のずれが多く専門業者だけでは間に合わず高所を作業される一般の人をたくさん見ました。次に動いたのは壁の撤去、落下途中でぶら下がっている壁・・・いつ落ちても不思議でない状態。それに道路際のブロックの撤去。倒れきれない斜めの塀はどれも重量物で危険がそこら中に。赤、黄、緑札で県民に知らせてますが余震の多さで日々変化してるのは、言うまでありません。トラックに積み込み、処分場に持っていくとトラックの渋滞で廃棄物処理場は何年分もの量の対応で追われてました。多くの人が早く元の安心できる住居でゆっくりできるようにと仕事が人助けと思い毎日頑張ってます。

知人の家が熊本市の歴史に残る景観重要建造物で、連絡が入り様子を見に行くとすさまじい光景が・・・玄関口にあった大きな2本の柱が折れて、入り口の門柱も道路に転がり、何トンもある燈篭も庭先に落ちていてどうやったらあんなに重いものが動くのか地震の凄さが予想以上でした。ひとまず誰も怪我が無いのが救いとＳ氏。家の中に連れていってもらうと昔の病院の後が無残にも壊れていてその埃で室内は真っ白に・・・どこから手をつければいいのか・・・町のボランティア班とともにひたすら掃除、まずは大事な物の片付けから。家を解体してまた、建てるとしても。現状を復旧するにしてもかなりの額がかかるようで、最善の道が分からずそれでも金額のめどが立つなら後世に建物を残そうと文化遺産の維持はひとすじ縄ではいきません。自分もひとまず玄関入り口の掃除からと壁のガレキを一枚、一枚どけてみると底のほうからなにやら植物が姿を現した。なんと玄関口に飾られた蘭、2週間近くもガレキの中でいまだ枯れずに生きてました。その蘭を地震の記念にくれると・・・

熊本地震の復興を願いこの蘭に花を咲かせようと大事に育てています。
蘭の花にも負けない熊本、元気な熊本県民、頑張ろう熊本！！

旅行業関係

熊本地震を体験して

津志田　幸紀

まずは、前震と言われた4月14日(木)の地震で、会社がテナントとして入っているショッピングセンターサンリブくまなんが、天井のボードが落ちスプリンクラーが舞うという惨事となりました。
翌日は立入禁止で、自宅待機でした。では土日で片付けに行かないといけないかと思っていたところに本震の4月16日(土)1時25分頃に地震が発生してしまって大変な事になりました。取り合えず家族はみんな無事でいるけど、家の中はめちゃくちゃで足の踏み場もない状態でした。

翌朝、仕事はどうなるのか？会社には入れないけどいつまでなのか？そう思いながら家の中を片付けてると、お客様から携帯に連絡が。直近の分からゴールデンウイークまでに手配をしているお客様が、次から次に取消の連絡があり、手帳にちゃんと書いておかないと大変な事になると思い一つづつ直接航空会社やホテルに取消しの連絡を始めました。(本来は、会社のパソコン端末で予約をしているので端末で取消しなければいけないのだが)

月曜日となりサンリブくまなんに、本社から社長に来てもらい手配書をどうしても取らせてほしいと頼み込んで、ヘルメットと懐中電灯を持って入り取り出すことができました。しかしその後も仕事といえば取消しがほとんどで、来店してもらっていたお客様の所へも住所にナビで調べチケットを取りに行き、払い戻しの準備ができたらまた現金をお持ちするばかりで、自分でも何をしてるのかわからない様な事ばかりでした。（まだいつ会社に入れるようになるのかわからない）個人の分のみならず、団体も取消しになり７月くらいまで入っていた団体はほとんど取消しになりました。 私の仕事は、地元の人を他県・他国へ連れて行くのが仕事なんですが、お客様も震災にあっているので会社も人も、どうしようもない状態です。

ただ、東北大震災の時にもお客様に言ってきたのは、熊本でのイベントなど（飲み会やゴルフなど）に中止はしないでおきましょう！と。ただ今回は熊本が被災しているのでなんとも言えないが、そう思いたいです。

飲食業関係

熊本地震復興記

亀井 純子・亀井 明徳

この度、４月に発生しました「熊本地震」により、被災された全ての皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。熊本の景色、人間模様、人生観をこれ程激的に一変させようとは・・・

［熊本生まれ、熊本育ち］の私どもにとって、このように甚大な地震に襲われるとは、かつて想像したこともありませんでした。きっと、熊本人誰一人（過言ではないはず）思ってもいなかったのではないでしょうか。

私が所属します【亀井ランチ】は、４月１４日夜発生の大地震により、工場に設置していた真空冷却機、貯水タンク等の調理関連設備が大破し、使用できない事態となりました。

しかし、幸いに途絶えなかったライフラインの下、残った生産機械を結集させ、折角のお客様ご注文を全てお断りし、被災者様、市役所・自衛隊等行政様向け「おにぎり」の支援物資生産へと切り替え敢行しました。

この時は、「おにぎり」を海苔で巻いたり、中に具材を入れたりしていました。

ところが予期せぬ二度までの大地震。１６日本震の際には、深夜にも関わらず社員・パート従業員有志が続々出社し、大きな余震が続く中「白おにぎり」の生産を始めました。もはやこの時は、おにぎりに海苔を巻いたり、具材を入れたりする余裕すらなくなっていました。夜が明けると、けたたましく電話の呼び音が鳴りっぱなし、パンク寸前になりましたが、被災者様支援を最優先するため、生産物を「白おにぎり」に統一し、一人でも多くの被災者様へ届けられるよう方針を固め、できる限りの対応をさせて頂きました。

以降、遂に断水となり・・・踏ん張る【亀井ランチ】に神様のご加護・・・飲料可能な井戸水へと配管を切り替え、窮地に陥ることなく製造続行が叶いました。その井戸水と水洗トイレが諸々救う暗闇に射す光の如く・・・使用可能でしたので、熊本シティエフエム様へ情報提供、即座に呼び掛けて頂き、２４時間地域の皆様への開放も行いました。

１６日午後、熊本ＹＭＣＡの神保様より携帯電話に着信があることに気付きます。折り返すと"何か食支援をお願いできないか！"懇願の内容でした。その電話を受けたのは、入院している実母がいる熊本赤十字病院でのこと。被災により負傷された方々が、救急車とドクターヘリにて続々と搬送され、緊迫し悲哀に包まれた場面の只中に在り、避難所との情景と合わさり生涯体感したことのない非常事態に怯えました。ここで、何も出来ないではいけない…。

そう思うも当時は、私ども工場内は完全集中生産で、どれ程生産しても生産が追い付かない状態でした。神保様には、事情をご理解頂き、避難所である益城総合体育館へ１７日朝食分として「白おにぎり２個入り」６００パック１，２００個を何とか準備する算段がつきました。しかし、方々からの製造・配送依頼が膨大となり、配送員手配ができない状況でしたため、１７日朝７時に、ＹＭＣＡスタッフ様に工場へご足労願い、お二方に物資を引き渡しました。

１６日本震以降、従業員はほぼ不眠不休、大きな余震続く中、工場内コンベアラインを止めることなく、会社はひたすら被災者様食支援物資生産に勤しみ続けました。そこにあるのは、…今こそ、人様のお役に立てねば！との使命感のみでした。自身も被災しながらも力を出し切り続ける社員、パート従業員、それから応援に駆け付けて下さった大勢のご家族方々には、どれ程頭を下げても下げきれないところです。

本震発生から、ひと月以上が経過しましたが、【亀井ランチ】は今もなお、熊本市内の一部の避難所向け食事提供を続行中です。又、来月より、益城方面学校給食も請け負うこととなり、大量数、そして長期間に亘る準備となる見込みです。今、力振り絞ることが叶う県内のお弁当業者間の連携、協力、支え合いが不可欠であり、お互いが各々を想うつながりの糸が、太く強固となってきています。

ひとり一人の「人」同士の結びつきはもちろん、企業と企業のやさしい思い遣り合う連結も重んじていく・・・皆が'しあわせ'を感じ取れる確かな一歩であるという意識も生まれました。依然として、避難所にて不便で意にそぐわない生活を余儀なくされている皆様に、一日も一刻も早く、平穏な日が訪れますように。お互い見つめ、手を取り合って、いつものその人らしさで在り、一歩ずつ、ひとつずつ前を向いて行けたら。。。と、ひたすら祈ります。

何分、***想像もしない突然のことで・・・***人生に上り坂、下り坂ある中、実際に起こった'まさか'の事態。日々の大小全て｛当たり前ではなく意義ある、その時限りの尊いこと｝であると、我が人生に、熊本に深くしっかりと刻み込まれたこの度の自然の驚異（脅威）です。

私、会社共々、様々に対応が行き届かず反省多々でございますが、今後もなお一層熊本の皆様の一助を担えますよう尽力し、精進を重ねて参ります。宜しくお願い申し上げます。

医療関係

熊本地震と歯科的関わり

町田由美子

熊本を襲った2度の強い地震。地鳴りがし、その後、大きな揺れが襲い、誰もが自然の猛威に恐怖を抱いた瞬間でした。前震の後、浴槽に水を貯め、避難グッズを各自リュックに準備し、また、寝る場所も物が倒れてこないところに家族が一緒に寝て、万が一に備えました。

まさかあのような大きな本震が来るとは思いもしませんでしたが、幸いけがもなく無事に生活をできていることは本当に有り難いことだと思っています。

1週間ほど近くの中学校校庭で車中泊をしながら避難所生活をしました。指定避難所ではありませんでしたが、レスキュー資格のある方がリーダーシップを取り、統制のとれた、また避難者がそれぞれ役割分担をし、できることをできるしこ、関われる環境でした。

娘は物品管理や食後の片付け、小さな子供たちとのふれあい、私は、歯科医師として、避難後2日目には肺炎、むしば、歯周病予防のための啓蒙と、食後の歯磨きの呼びかけをし、歯ブラシ配布を行いました。

東日本大震災では、発生から２週間後に、高齢者の肺炎が急増し、また阪神淡路大震災では、避難生活などで病気などにかかり、亡くなった９２２人のうち、２２３人が肺炎で亡くなったそうです。

水がなくても、水がないからこそ健康管理のための歯磨きは大切。何もうがいしなくても磨いた後、その汚れを吐き出し、ふき取るだけで良いのです。

自クリニックが4/19日には通常診療を再開したため、被災地へは休日に赴き、歯科医師会やJMATと連携して活動をしております。

熊本弁で話しかけると口の困りごと以外の困りごとを話してくださる方もいらしゃいます。これからは歯科的なアプローチをきっかけに心のケアに関わっていきたいを思っています。

IT関係

準備すべきBCP（事業継続計画）

佐藤 通彦

熊本のIT関連企業が同じでは無いという事を前提に・・・・。私達の仕事は、ソフト開発を行う事に加えて、リリースしたシステムや、お預かりしているシステムを、24時間安定稼働させる責務も担っている。
親会社が東京・埼玉にあり、私も昨年まで6年間出向に出ていた為、東京で311東日本大震災を経験し帰宅難民の一人となった経験をしている。会社は、311以降BCP対策の準備を続けていました。4月14日の前震・4月16日の本震共に、ニュースで知った親会社の情報システム部門が、会社に戻り、システム稼働のチェックや、熊本社員の被害状況確認等を進めてくれていた。

311の時は、地震後も電力事情が悪く、半月ほど計画停電が行われた。その為、私達はシステムの起動・システムの停止作業が中心となり、また発電の為の重油確保に翻弄する毎日をおくった。その点、今回の地震は電力・通信の被害は、最小限で済み、システムの運用継続は非常に楽であった。ただ、試験・開発用等の床から固定していなかったコンピュータの一部には破損等もあり、修復作業は続いたが・・・・。

IT関係からみると、やはりバックアップデータの重要性。システムを稼働させるコンピュータのクラウド化が必須。今回の地震でも、携帯電話のメール・LINE等のSNSが、連絡をするのに非常に重要な役割を果たしたというアンケート結果が出ています。SNSを利用するのは、今では一般的。コンピュータのデータも、携帯電話のデータも、クラウドへバックアップする時代。但し、SNS・クラウドを利用をすれば、するほど、セキュリティを気にすべきポイントが増えていきます。
クラウドの偽証ログオン、LINE等のSNSアカウント乗っ取りのトラブルが最近、新聞・週刊誌を賑わせています。

多くのものを一度に失わせる自然災害、当たり前の生活を一変させる、コンピュータのセキュリティ問題。イザという時に、被害を最小限にするために、計画的な準備をしていきたいものです。

5月企画例会

日時　：　2016年5月18日(水)　19:30～21:30
場所　：　中央YMCA
参加者：　今田、岩本、加藤、亀井、亀浦、木本、佐藤、中西、津志田、町田(由)、松野、水元、宮田、宮村、橋本

メンバー数 27名　　参加数 15名

● **報告事項**

1．第６回熊本連絡会議

日時：　5月11日(水)　19:00～
場所：　東部YMCA

・第１号議案：議事録承認の件
・第２号議案：次期熊本連絡会議　活動方針
議員：議長：亀浦正行（熊本にし）
副議長：白木尚登（熊本ひがし）
岩本守弘（ヤング）
書記：水元裕二（熊本にし）
会計：後日報告
監事：岩本守弘（熊本ヤング）
来期は、第4火曜日　中央YMCAジェーンズホール開催を予定
・第３号議案：次々期連絡会議議長選出について
熊本ひがしクラブ　白木尚登ワイズを推薦
・第４号議案：熊本地震に対する西日本区、並びに九州部の取り組みについて
神保さんより、これまでのYMCAの活動についてプレゼンをいただいた。
西日本区より支援いただいた義捐金を下の4つの柱で使途を決めていく事を確認。
① 避難所、被災者支援　主に益城、御船、阿蘇
② 熊本YMCAの支援
③ 被災されたワイズメン支援
④ 長期的なウェルネス活動
・第５号議案：熊本地震ワイズ益城総合体育館支援プロジェクト
避難者の安心とYMCAスタッフの負担軽減を図る目的で、看護師・保健師を配置し、スタッフとともに夜間の対応を行う。医療スタッフの派遣は、経験あるNGOに依頼し、ワイズメンズクラブはプロジェクト運営への助言と協力、寄せられた寄付金等を活用して、式面の支援を行う。
※費用などは、今後具体化するとして、プロジェクトとしては、進めて行くことで合意。

2．リサイクルファンド（資源物回収）

4月28日(金・祝日)　リサイクルファンド結果は、5月回収事に合わせて集計されます。

3．熊本地震ボランティア活動報告

・遠藤理事と他3名が、熊本訪問され避難場所等を見学された。
掃除用具等の贈呈式が行われた。
西日本区より、支援金等多くの応援をいただいている。理事通信にまとめられているので、各自目をとおしておくように。
・益城総合体育館のアリーナ天幕作り
役140名のボランティアで体育館の天幕作りを行った。

・YMCA学院として、各地でストレスケア・健康予防運動・入浴介助等、卒業生・在校生300名近くの人が、ボランティアに関わってくれた。

4．各委員会より

・ブリテン　：5月号は、会員向けはメール発信した電子データを必要に応じて各自で印刷してください。対外向けは印刷物を用意します。

・ドライバー：6月は予定通り引継ぎ例会を予定している。

・CS・ファンド：CSは、100%振込を行いました。

・交流　　：エバーライフクラブから、多大の義捐金をただいているので、奮って世界大会に参加し、交流を深めたい。

5．YMCA報告

5月までは、大きな会議・イベントは見送っている。6月からできるだけ正常運用に戻していきたい。避難所は、長期サポートが必要になる事が見えてきているので、それに備えて、準備・活動を行っていく。

● **協議事項**

1．6月　引継ぎ例会

日時：6月1日（水）　１９：００～

場所：ニュースカイホテル

司会：中西ワイズ

引継式：水元ワイズ

食前感謝：加藤ワイズ

2．地域奉仕活動

日時：6月５日（日）

場所：縁（神山ワイズ）

今年は、円での活動は中止とする。益城総合体育館等のサポート作業等の行事を検討していく。

3．義捐金

・クラブ内の被害が大きいメンバーに、まず義捐金５万円を拠出する。

・熊本YMCAに50万円の義援金を拠出する。

熊本YMCA学院通信

連絡主事　加藤 泰文

この度の地震で被災されました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

熊本地震発生より、授業再開に向けて準備を進めてまいりましたが、無事10日（火）に授業を再開することができました。皆様の多大なるご支援の賜物と、心より感謝いたします。

学院では、震災直後より、延べ300名あまりのＹＭＣＡ学院の学生やＯＢの皆さんが、それぞれの専門的な学びやスキルを活かして、益城町、一新、五福、帯山西小学校等、各地域において、この休校期間に避難している子どもたちの預かりやストレスケア、エコノミークラス症候群予防、入浴介助等の福祉ボランティア、清掃ボランティアや炊き出しといった支援活動を行ってきました。

ボランティアの呼びかけに対して、多くの学生の皆さんが応えていただき感謝いたします。自身も被災し、避難所生活であるにもかかわらず献身的に働きを行っている学生や教職員がいるこの熊本ＹＭＣＡに誇りを感じています。心からボランティアとして参画してくれたことに感謝いたします。

中央校舎・東部校舎とも、専門家に検査いただき、使用に問題ないという評価をいただきました。これから工事を進めていかなければならい箇所もあり、しばらくの間、教室変更や授業において不便なところもあるかと思いますが、学生の皆さんの夢実現に向け、現実を乗り越え、一歩一歩前進していくための支援を行っていきたいと思います。

10日より授業が再開いたしました。学生の皆さんと再会できた喜びを感じるとともに、学生のみなさんの元気な声に私たち教職員も元気をいただきました。授業ができること、友だちともに学べること、生かされていることに感謝しつつ、ともに歩んでまいりたいと思います。

「私たちのはたらきは微力ではありますが、無力ではありません」

一人一人の働きで、支え合うことが大切です。ともに前に進んでいきましょう。

6月の行事予定

6月 1日(水)	熊本にしワイズメンズクラブ　引継ぎ例会
6月 4日(土)	１年生保護者会
6月 6日(火)	拡大1泊運営会議(～7日@リフレスおおむた)
6月11日(土)	オープンキャンパス③（東部校舎）
6月15日(水)	熊本にしワイズメンズクラブ企画例会
6月17日(金)	高校対象学校説明会
6月20日(月)	学校訪問②（～7/8）
6月22日(水)	学院職員会
6月24日(金)	西日本区大会（～26日@大阪）
6月26日(日)	学校説明会（@上通りＹＭＣＡ）